



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2024年
7月号
(第13号)

今月のことば

「受けるよりも与えるほうが
 幸いである」新約聖書
 使徒言行録 20章 35節
 (伊藤幾夫 選)

2024~2025 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなが集えるクラブを！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「ワイズの方向性を見極める」
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン(香港)「大きなインパクトを起こそう」
 国際会長 チャーミング・シェン(台湾)「太陽の輝きと笑顔」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 副会計 城田教寛
 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ: キックオフ・PR

7月例会プログラム

日時: 7月2日(火) 19:00~20:30
 会場: 玉川学園コミュニティセンター
 会費: なし(夕食はありません)
 *オンライン(Zoom)でも参加できます

司会: 藤田 智 受付: 城田教寛

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング 一同
- *今月のことば 会長
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *部長公式訪問 今井武彦部長
「部長活動方針」
- *転入会式 ^{みね たけし} 峰 毅 さん(元東京世田谷クラブ)
- *部役員からひとこと
- *チーム報告(プランター野菜講座、農園、社協など)
- *YMCA ニュース、各種アピール等
- *スマイル
- *今月のハッピーバースデー
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 会長

7月の Happy Birthday
 該当者はありません

巻頭言「みんなが集えるクラブを！」

新しい年度がスタートしました。希望をもってクラブ活動をしていきましょう。新クラブ「東京多摩スマイルクラブ」となって2年目になります。1年目の昨年は2つのクラブが一緒になったので、いくつかの点(とくに会計関係)の調整に時間を割きましたが、話し合いによって、円満にまとまりました。月会費は両者のあいだをとって2,500円になりました。2つのクラブがひとつになることは、多少の困難を伴いますが、“結婚”と同様に、「一緒になることの喜び(メリット)のほうが大きい」とお互いに判断したからです。両クラブが一緒になるにあたり“交際期間”は2年に及びました。2か月に1回偶数月に“お会い(合同例会)”しました。お互いの“良さ”を認識して、一緒になることを決意した訳です。一緒になったことの楽しさは数字に現れています。なんと出席率はほぼ100%(9月以外)でした。みなさんが楽しく例会に参加できていると感じます。「楽しそうなところに人は集まる」が私たちクラブのモットーです。今年度新たに峰毅(みねたけし)さんが加わり(元東京世田谷クラブより転入会)、クラブはさらに“化学反応”をして、より楽しさが増すことでしょう。(伊藤幾夫記)



6 月 例 会	在籍17名 (内広義会員6名)	出 席 内 訳	メンバー 11名	BF 1.78 kg (1,068円)	オークション 12,241円
	例会出席 18名 (リアル10名,Zoom8名)		メーカーキャップ 2名	(分量については昨年度分も合わせて積算)	(今年度累計 20,741円)
			出席率 100%	ぼんぼこファンド 5,000円	スマイル 6,300円
			メネット 0名	(今年度累計 7,800円)	(今年度累計 99,443円)
			ゲスト・ビジター 7名		

6月例会報告

6月4日(火)、東京多摩スマイルワイズメンズクラブの6月例会が開催されました。ベルブ永山の講座室をメイン会場としてのハイブリッド開催でした。ゲストスピーカーのZoom参加を待つ間、ぼんぼこ農園、プランター野菜講座等の報告が行われました。



メインのプログラムは、武蔵野大学学生の長瀬優衣さんの「AYCに参加して」と題する、昨年8月に参加した、ネパールでのアジア太平洋地域ユースコンボケーション(AYC)の報告とその後についてのスピーチでした。

AYCの報告書および昨年度の報告会でのパワポを画面共有しながら、プログラムの概要、現地で気づいたこと、得



たことについて説明が行われました。現在は、大学の異文化交流セミナーに参加して、日本の文化を留学生に伝える/外国の文化に日本人学生が触れるプログラムを計画しているとのことで、今回のAYCでの経験、反省事項を活かして、AYC2025(熊本)をより良いものにしていきたい、特に海外からの参加者に日本の文化や課題を知ってもらう機会を多く持ちたいと考えているとのことでした。

AYCに参加した、東日本区/アジア太平洋地域ユース代表の風間さん、東京YMCAユースリーダーの丸山さんもゲスト参加され、コメントをいただきました。スマイル献金の後、一旦閉会し、その後、Zoom参加者はクラブメンバーのみが残り、ワイワイ歌声広場、ワイワイクッキングのアピール、落合夏祭りへの参加についての意見交換を行いました。



最後にオークションを行い、農園のジャガイモ、その他の献品の販売を行いました。久しぶりに広義会員の佐々

木さん、滝口さんの参加がありました。(田中記)
<出席者>石田、伊藤(幾)、尾張、佐々木、城田、滝口、田中、為我井、深尾、藤田、綿引
<ビジター>【東京世田谷】峰 毅【東京八王子】山本英次、【十勝】山下 真【東京武蔵野多摩】渡辺
<ゲスト>風間菜月、長瀬優衣、丸山啓太
<メーキャップ>伊藤(江)、小野

6月第2例会(運営会議)報告

6月10日(月)、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。

6月例会報告、会計報告、7月例会プログラム、7月ブリテン構成の他に以下のことが報告、話し合われました。

- 十勝東日本区大会の報告
- 7月例会で東京世田谷クラブ峰さんの転入会式を行う。
- 来年度予算案：承認
- 来年度の例会(司会、受付)・ブリテン記事(巻頭言、今月の言葉)の当番表：承認。都合が悪い場合は、早目に書記に連絡すること
- 落合夏祭りへの対応：7月20日(土)、21(日)の両日とも出店し、ホットドッグを販売する。詳細は田中が検討し、連絡する。シェアマインド松本さんにも参加の声掛けを行う。
(上記の決定がなされましたが、出店申請に至らず、今回は、参加しないことになりました。)
- 8月例会：恒例の「納涼例会」として、会場を変えて、飲食をともにする。各自、会場の候補を7月第2例会に提案する。(田中記)
<出席者>石田、伊藤(幾)、小野、城田、田中、為我井、深尾、綿引 合計8名

2024-2025年度クラブ役員紹介

新年度のクラブ役員は次のとおりです(続投)。よろしくお願ひします。

- *会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠
- *直前会長 深尾香子、為我井輝忠
- *書記 田中博之 副書記 尾張日出夫
- *会計 綿引康司 副会計 城田教寛
- *担当主事 小野 実

2024-2025年度東新部役員紹介

部長：今井武彦(東京むかで)
次期部長：比奈地康晴(東京)
直前部長：深尾香子(東京多摩スマイル)
書記：伊藤幾夫(東京多摩スマイル)
会計：石田孝次(東京多摩スマイル)
会員増強事業主査：加藤義孝(東京)
地域奉仕Yサ事業主査：綿引康司(東京多摩スマイル)
国際・交流事業主査：比奈地康晴(東京)
ユース事業主査：城田教寛(東京多摩スマイル)
部大会実行委員長：渡邊実帆(東京)
ヒストリアン：伊丹一之(東京むかで)
ウェブマスター：江口耕一郎(東京)
LT委員長：伊藤幾夫(東京多摩スマイル)
エクステンション委員長：加藤義孝(東京)
メネット連絡員：深尾香子(東京多摩スマイル)
担当主事：本多良章(東京むかで)

7月「部長公式訪問」

東新部部長

今井武彦さん

東京むかでクラブ



今井部長の主題・スローガン

《主題》「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」

《スローガン》

私たちは、ワイズ・YMCA に連なる人々の「地の塩、世の光」になろう！

第1回評議会は下記の日程で開催します。

*日時：2024年7月20日(土)13:30~16:00

*場所：東京 YMCA 東陽町センター (ハイブリッド)

歓迎！

転入会

みね 峰 たけし 毅 さん



《プロフィール》

現在、行政職（高齢者福祉）として勤務。10歳の時に神戸YMCAの余島キャンプに参加した事を契機に、神戸Yユースクラブで地域活動に励み、大学時代は学生YMCAでSCM（Student Christian Movement）に参画。ワイズライフは25年前にスタートし、今に至ります。

《入会にあたり》

構造改革で東京世田谷クラブが、ワイズから市民型クラブに移行し、再活動する中、ワイズとの関わりは、複数の選択肢が有りましたが、今一度、ワイズに軸を置くこととしました。そこに至った遠因としては、10歳の時にキャンプで感じた、「YMCAは楽しい」という思いかもしれません。部の趨勢や年齢構成を勘案しても、組織的臨界点が近年内に迫る中ですが、みなさんと共に新たなワイズ像を、模索して参りたいと思います。

会計担当から会費納入のお願い

7月から新年度にあたり、会員の皆様に前期会費の納入をお願いします。今年度から会計も統合することから、会費金額を改定します。通常会員の方は、半期分15,000円（@2,500円×6カ月）となります。広義会員は9,000円（@1,500円）、担当主事は6,000円（@1,000円）です。

振込口座は全会員同じで、『多摩信金 桜が丘支店 普通 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ』宛、お振込み下さい。（綿引記）

第7期プランター野菜講座3回目講座の報告

6月11日(火)に3回目の講座が行われました。お馴染みのメンバーが、Zoom画面に登場し、ピーク時は20人を超える盛況ぶりでした。前回は、色々な予定が重なって少し寂しかったのですが、開始から終了まで賑わいました。画面に笑顔が見えるとホッとします。気のおけぬ



仲間との1時間15分は、準備に追われ、てんてこ舞いですが、心地よい居場所となってきており、共有感に浸れました。前回以上に、参加者からの生育写真が多く送られてきて、事務局の田中さんの頑張りや、あつという間の早業でアルバムに仕上げてくれます。編集したアルバムを見ながらの藤田講師とのマンツーマンレッスンに、みんなが釘付けになって

稲葉恵子(1)



いる様子が画面上に映し出されます。みなさん、場慣れしてきたのか、藤田講師のお人柄なのか、手を挙げる人の数、質問の質の厚みが回を追うごとに増えている感じです。予定時間内に終わらないほどの盛況ぶりでした。これもありがたい悲鳴です。次の回辺りからは、順調な生育状況だけではなく、悩ましい問題となる葉っぱの病気や害虫対策など、厄介な問題に直面し、講座との向き合い方が一気にシフトチェンジしそうな予感がします。（石田記）

ぽんぽこ農園便り

梅雨に入り、ぽんぽこ農園の作付け状況は大きく変わりました。玉ねぎ、ジャガイモの収穫を機に主役は、夏野菜に移りました。農園を一手に管理してくれている佐々木さんの頑張りや、キュウリ、ナス、ミニトマト、ピーマンが本格的な収穫期に入っています。雨上がりの晴れた日に農園に出向くと、水分をたっぷり吸ったキュウリやナスが、びっくりするくらいビッグサイズに成長しています。採れたてのキュウリと野菜は、「ほくの家」（食の困窮者向けに無料で食材を提供する地域のNPO法人）と



「慈有塾」（高卒資格認定試験受験者向けの無料塾で日々の食が十分でない塾生向け）に佐々木さんが直接手渡ししてくれています。他にも「まんまるパール」の手作り弁当の食材として、タイミングが合えば無償提供もしています。また、雨上がりの天気の良い日に合わせ、パルプ材を畑に撒き、スコップで土を掘り起こし、パルプ材と混ぜ合わせる土壌改良作業を手伝ったりしています。結構力仕事で息が上がります。太ももは、パンパンに張ります。3日後から始まる筋肉痛が心配です。（笑）（石田記）

第 27 回東日本区大会 クラブから 7 名参加

「ブリテン優秀賞」など多数受賞

今年度の東日本区大会は十勝で開催されました。6月1日(土)のみの開催でしたが、全国から320名のワイズメン、メネットが参加し、大盛況のうちに終了しました。大会テーマの「さあ、とちかにいこう！とちかに行かなきゃワイズじゃない」が参加者の心を引きつけたのでしょうか、当クラブからも7名(石田、伊藤幾、伊藤江、城田、田中、為我井、深尾)が参加しました。下記参加者のコメントにもあるように、だれもが満足感を得られたようです。これはホストクラブ・十勝クラブの「おもてなし」があったればこそと思います。おもてなしの最たるものは晩餐会ではなかったでしょうか。食するもの



すべてが十勝産で美味しいことこの上なかったです。質、量とも豊富で大満足でした。当日、午前中は代議員会が開催され、すべての議案が承認されましたが、東日本区全体としても、クラブの解散(茨城、東京ベイサイド、東京世田谷)やクラブ会員の減少が、区の財政にも影響を及ぼしている現状に危機感をもつことが求められました。午後はバナーセレモニー、開会式、東日本区アワー、記念講演会、閉会式とタイトなスケジュールでしたが、和気あいあいのうちに無事終了しました。表彰式も行われ、当クラブは理事表彰として「ブリテン優秀賞」をはじめ、多くの賞(下記)を受賞しました。受賞は、会員のみなさんのご協力のおかげだと思います。

東日本区大会での表彰一覧

ブリテン優秀賞(理事表彰)、グランドスラム賞(全献金達成賞)、BF 献金貢献賞 1 位、TOF 献金貢献賞 1 位、ASF 献金貢献賞 2 位、YES 献金貢献賞 3 位、ユース活動支援献金貢献賞 3 位、FF 献金達成賞、BF 使用済み切手協力賞、CS 献金達成賞、出席率優秀賞、ノンドロップ賞、RBM 献金達成賞、環境キャンペーン優秀賞 (伊藤幾記)

東日本区大会参加のみなさんのコメント

石田孝次: 帯広は、道産子の身でありながらも初めて踏み入れた場所でした。チェックイン後に街の中心部を散策してみました。驚きました。寒かったこと、そして、街ですれ違う人の数が想像を絶する少なさで、嘗ての面影はなくなっていました。十勝クラブのメンバーの温かい雰囲気、私のシバレついた心を溶かしてくれました。

伊藤江理夫: はじめまして北海道！広大な大地、どこまでもまっすぐな道、美味しい食べ物。全ておとぎの国の話のように知っていましたが、本当でし

た！十勝の熱いワイズメンに迎えられ、一分一秒も無駄にせず過ごした時間は、私の人生に大切に刻まれました。そして、記念講演の西村淳さんの「南極料理人」を再視聴したのは言うまでもありません！
城田教寛: 十勝大会では久々の北海道を満喫。事業主任報告はプレゼン準備不足で叱責も受けましたが、本番直前までの猛練習の甲斐あって好評価。帰路の鉄旅でエスコンフィールドに立ち寄り、長時間の帰宅も疲れを忘れる充実感でした。

田中博之: 充実した素晴らしい区大会でした。十勝クラブと北海道部のチームワークとホスピタリティーを称賛します。今年度はぜひ最優秀クラブと出席率 100%を目指しましょう。大会の写真アルバムは、[こちら](#)(リンク)をご覧ください。

為我井輝忠: 北海道らしい広大な十勝平野を眼下に見ながら帯広空港に降り、会場となっているホテルへ移動しました。その道中、シラカバやカラマツの木々を見て、北海道へ来たことを実感しました。今回、大会プログラムも充実し、北海道の皆さんのおもてなしを十分堪能し、2日間の滞在が意義あるものとなりました。北海道にはまた行ってみたいです。

深尾香子: アスパラ&豚丼を満喫した今、円安を回復し、今後も安定してスイスに送金したいものです。他力本願の前に、クラブとして稼ぐ方法を考えねば、YMCA への寄付も儘なりません。宇都宮大会では、美味い餃子が待っているのですから。

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

1. 今後の主な行事予定

- ・「早天祈祷会」7月1日(山手センター/オンライン)
奨励: 草分俊一氏(しののめ YMCA こども園園長)
- ・講演会「～日本での学びを支援する～ 外国にルーツのある子どもたち」7月13日(南センター)
講師: 仲山淳子氏(東京 YMCA にほんご学院講師 / 日本語ボランティア養成講座講師)
- ・「キッズワールドカップ in 韓国」8月7～11日
(ソウル YMCA ダラグオンキャンプ場)
- ・第 38 回インターナショナル・チャリティーラン
9月28日 (都立木場公園)

故石川良一さんを悼む

東京多摩みなみクラブのチャーターメンバーの石川良一さんが6月16日に逝去されました。享年72。肺がんを患われていたとのことでした。都議をされていて多忙のため、昨年度から広義会員になられていました。心よりご冥福をお祈りいたします。6月23日通夜に伊藤幾、田中が参列しました。



今後の予定

7/8(月) 19:00～20:30 7月第2例会 Zoom

7/9(火) 19:00～20:30 プランター野菜講座⑤ Zoom